

2013年度入学試験（推薦入学A日程・11月10日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

臓器移植法の改正で、今年の六月、我が国で初めて脳死判定された幼児（六歳未満）の臓器が、他の十歳未満の子どもに提供されました。新しい臓器移植法は、ドナーが意思を表明しない状態の場合、家族の承諾があれば可能とすることも認めました。

この幼児の脳死判定から、臓器提供という出来事に関して、「幼い子どもからの摘出や移植は積極的に行うべきでない」という意見と、「助かる命のために積極的に推進していく方がよい」という意見が出ています。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の知識や経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。

なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

・今までは臓器移植しか助かる見込みのない子どもたちは海外へ渡って手術を受けなくてはならなかった。それには高額な費用が必要となり、手術を受ける前に亡くなるケースもあった。

・脳死と判定されても、その体に触れば温かく、心臓も脈打っている。脳死を自分の子どもの死として受け入れられない人も居る。

・男の子から心臓移植を受けた女の子は順調に快復し、今年八月に無事退院した。女の子の両親は男の子とその両親に深い感謝の意を示すコメントを報道を通じて発表している。

・臓器提供をする側、受ける側の双方の家族に重い心の負担がかかる。

・我が子からの臓器摘出を承諾した両親は、悲しみながらも、「子どもが誰かの一部となって生き続けてくれることを誇りに思う」と語った。

・日本でも過去、ほぼ脳死状態と言われた子どもが長期間心停止に至らずに生き続けた例が複数ある。

2013年度入学試験（推薦入学B日程・12月9日）【50分】
作文試験問題

学芸学部…子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

園児や小学生などが、子どもどうしてけんかしている場合「子どものけんかには大人が口を挟まない方がいい」という考えと、「子どものけんかでも大人が仲裁に入るべきだ」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。
なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・子どものけんかをほうっておくといじめにつながる可能性がある一方で、大人が仲裁に入ることが望ましい。
- ・子どもにとつてけんかは痛みを知る機会となるので、大人が中途半端に止めるのは望ましくない。
- ・子どもはけんかなどで感情的になると、相手のことが理解できなくなるので、大人が双方の聞き役に入るのが望ましい。
- ・子どもがけんかを終えるには我慢が必要である。それは大人に強いられるより子ども自身が決定することが望ましい。
- ・子どものけんかかは双方のわがままのぶつかり合いなので、大人がそれをたしなめ、しつけることが望ましい。
- ・子どもが最近しがちな「けんかによる心身の傷も簡単にリセットできる」という思い違いは、実感を通して正すのが望ましい。

2012年度入学試験（推薦入学A日程・11月12日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

現在の電力危機を受けて、これからの発電システムについて議論されていますが、主に、「原子力発電を見直し、他の発電方法に力を入れるべき」という考え方と「安全対策を万全にし、エネルギー効率の良い原子力発電を維持または拡大すべきである」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。

なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・現在の社会や人々の生活は大量の電気を必要とし、それらを支えるために、発電力の大きい原子力発電が大きな役割を担ってきた。
- ・チェルノブイリ、スリーマイル島、福島第一などの例に見られるように、原子力は一旦、事故が起きると甚大な被害をもたらす。
- ・原子力施設の事故は、一過性のもではなく、数年、数十年にわたって健康や環境に影響を及ぼし続ける。
- ・日本はエネルギー資源に乏しく、燃料などを海外に求めなければならない現状がある。
- ・水力発電や火力発電は、事故時の影響は小さいが、自然の破壊や温室効果ガスの発生など、建設時や運用時の環境への影響が大きい。
- ・太陽光発電や風力発電は環境への影響は小さいが、技術開発中であり、エネルギー効率がまだ低く、社会システムを支え切れない。

2012年度入学試験（推薦入学B日程・12月11日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

公共の乗り物に「優先席を指定する必要はない」という考え方と「優先席をきちんと指定すべきである」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・ 車内で、子どもを座らせて祖父母や親が立っているという様子をよく見かける。
- ・ 困っている方に席を譲るのはどの席に座っていても同じことという考えから、優先席を設けていない会社がある。
- ・ 若いお母さんが、子どもに席の譲り方を教えて、お年寄りに席を譲るようにしつけている光景に出会った。
- ・ 優先席は、座席や付近のつり革の色を変えたり、窓にマークをつけたりしてあり、わかりやすいようになっている。
- ・ 優先席は、海外にもある。ただ、それは「誰もが同様に安心して乗車できる」という考え方の下に設けられている。
- ・ 優先席とは、体の不自由な方や怪我をしている方、お年寄り、妊婦さんなどに優先的に座ってもらえるようにした席である。

2011年度入学試験（推薦入学A日程・11月13日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

英語は「幼児から学ばせるべきだ」という考えと「それは間違っている」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。

なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・子どもは臆することがないので、すぐに外国人と話すようになる。
- ・子どもはまだ考えを組み立てる力が弱いので、外国語を習うと考えることは定まらなくなってしまう。
- ・子どもは記憶する能力が高いので、小さい頃からいろいろなことを覚えさせるのがよい。
- ・子どもは経験を通して体で覚えることが望ましいので、いろいろな遊びを体験させるべきである。
- ・日本人として、日本に伝わる文化を理解させることが先決である。
- ・外国語がわかればいろいろな考えを聞くことができるので、考え方の幅が広がる。

2011年度入学試験（推薦入学B日程・12月12日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

幼稚園や小学校などで、子どもに「給食を用意するのが望ましい」という考えと「それは間違いである」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として教える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・ 子どもには「食育」が必要なので、給食によってそれを進めることが望ましい。
- ・ 子どもは一人ひとり体質が違うので、子どもにあった食事は各家庭で用意するのが望ましい。
- ・ 子どもには家庭の愛情のこもったお弁当を用意することが、心の発育のためにも望ましい。
- ・ 家庭によっては、子どもに食事をきちんと用意できないこともあるので、誰もが食事ができるように給食を用意すべきである。
- ・ 食事のしつけは家庭ですべきことであり、何もかも教育機関に任せるのは間違いである。
- ・ 給食をみんなで食べるという経験が、食事の楽しみを味わわせたり、好き嫌いを無くしたりすることにつながる。